

申4号「2020年度冬期対策に関する申し入れ」団体交渉 ③

中央地区1項 秋田車両センターの出張修繕について、長時間移動とならないように、津軽線においては盛岡車両センター青森派出で対応するよう盛岡支社と協議すること。

会社)車両所属箇所である秋田車両センターの対応が基本となる。大変だという声があるのは理解している。青森派出の体制も縮小されて難しいが軽微な修繕に関しては協力してもらっている。

組合)盛岡支社への協力依頼はないのか。

会社)大規模な障害が発生した場合には協力依頼することもある。対応してもらうこともあるため、新たに投入されるGV車両の講習会には青森派出からも参加してもらった。

早期運転再開に向けた支社間の協力体制を引き続き行うことを確認!

中央地区2項 秋田車両センター臨時修繕庫の蒸気管から蒸気漏れ(修繕4番、5番の庫外、SG臨時修繕庫の北部方、SG臨時修繕庫前、臨時修繕庫内上部)が発生している箇所があり、夜間は特に危険なため早急に修繕すること。

組合)庁舎前の蒸気漏れは、夜間になると運転士からも歩行者が見えず危険。

会社)現場からも多くの箇所の修繕が要請されている。修繕を行うメカトロニクス(株)に依頼し計画的に修繕を進めている。重症箇所や緊急を要する箇所から修繕することになるが、危険な箇所があるということを伝えた。

東北地区1項 東能代駅構内の制輪子叩き棒が庫内にしかないため裏3番線にも置くこと。

組合)現場とはどのように調整しているのか。

会社)裏3番線は設置する場所がないので、裏4番線に設置できないかということで調整している。裏3番線に2編成留置しているが、4両編成を留置している付近の電柱に設置を検討している。

津軽地区1項 つがる運輸区車両職の冬期体制について作業ダイヤを示すこと。

組合)申し入れ以降に作業ダイヤは示されたのか。

会社)作業ダイヤは示した。今月11日から説明会を行って大館の職場には掲示もしている。

組合)乗務員基地再編後に体制も変わっている。夜間にMCRや投排雪保守用車で除雪をする際の対応も考慮された上での作業ダイヤになっているのか。

会社)作業ダイヤ上問題ないということで確認している。

組合)CSPが構内除雪をする際にはこれまで日勤をつけて構内案内をしているが今冬も同様か。

会社)構内案内は必要なので配置する。大館の要員で対応できなければ本区(弘前地区)からも駆けつけて対応することになる。

乗務員基地再編後初めての冬期のため会社としても確認することを要請!

冬期を安全に乗り越えるための議論を組合員と展開し、検証運動へとつなげよう!